

市川市 行徳ふれあい伝承館

国登録
有形文化財

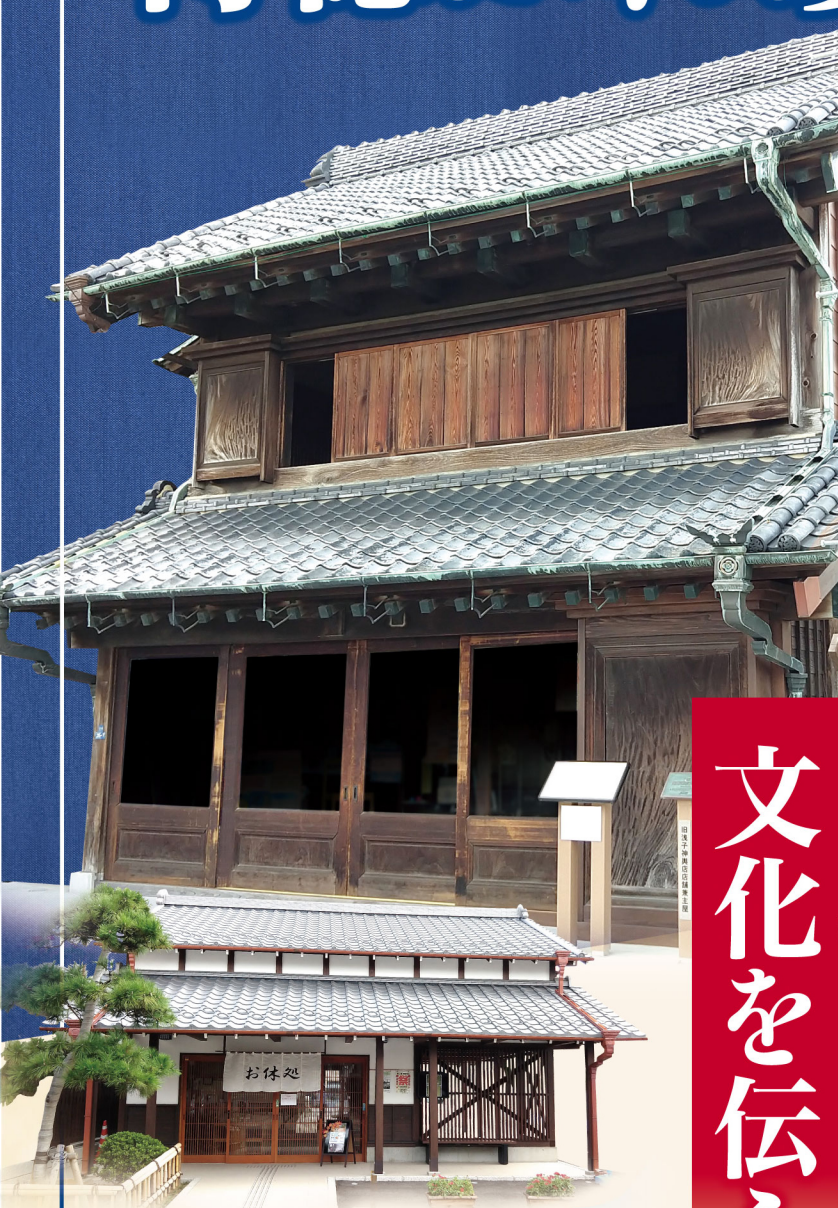
旧浅子神輿店店舗兼主屋

入場無料

行徳の歴史と

文化を伝える

創業は室町時代末期と
伝えられ、五百年もの間
神輿制作に携わってきた
『浅子神輿店』の
貴重な資料とともに
行徳の神輿や祭り、
製塩と舟運で栄えた
行徳の歴史について展示しています



旧浅子神輿店店舗兼主屋



開館時間 午前10時～午後5時 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月28日～1月4日)

〒272-0103 千葉県市川市本行徳35番7号(主屋)37番13号(休憩所) ☎047-314-8177 <http://www.city.ichikawa.lg.jp>

●東京メトロ東西線「妙典駅」または「行徳駅」より徒歩15分 ●京成トランジットバス「行徳四丁目」下車すぐ

市川市 行徳ふれあい伝承館

「市川市行徳ふれあい伝承館」は旧浅子神輿店舗兼主屋(以下:主屋)と休憩所から成り、神輿をはじめとする行徳の歴史や文化を紹介し、地域の魅力を発信する施設です。

主屋



2010年に建物が国の有形文化財に登録された主屋では、浅子周慶作の神輿や行徳にゆかりのある資料を公開しています。

休憩所



旧浅子神輿店の工場であった主屋向かいの跡地に建てられています。主屋を見学したり行徳を散策したときなど、どなたでも自由に休憩していただけます。軽食も楽しめます。

ちよと
足をのばしてみませんか?



行徳神輿ミュージアム

「戸数千軒、寺百軒」と言われるほど寺や神社が多く、腕利きの仏師や宮大工が集まっていた江戸時代の行徳。その技術を生かして神輿の製作が始まり、今でも日本で有数の神輿の産地のひとつです。行徳神輿ミュージアムは、神輿の木地の製作から組立まで一貫して製作している中台製作所が開設。職人が使用する多彩な道具や、普段は見ることのできない神輿の内部などを展示しています。(市川市本塩21-3)



常夜灯公園

塩の産地である行徳では、江戸へ塩を運ぶために水運が発達しました。本行徳と江戸を往復する船は「行徳船」と呼ばれ、やがて人や物資の輸送にも使われるようになりました。江戸時代には成田山参詣客も利用するようになり、1812年、講中と呼ばれる信者が、航路の安全祈願のために建てたのが、高さ4.3メートルの常夜灯です。2009年に、常夜灯周辺は常夜灯公園として整備されました。(本行徳34地先)

